

令和 2 年度
学校評価アンケート結果



阿南市立阿南第一中学校

令和2年度調査

1 回答者

令和2年12月10日(木)～23日(水)

教職員31名 生徒320名 保護者319名

2 回答方法

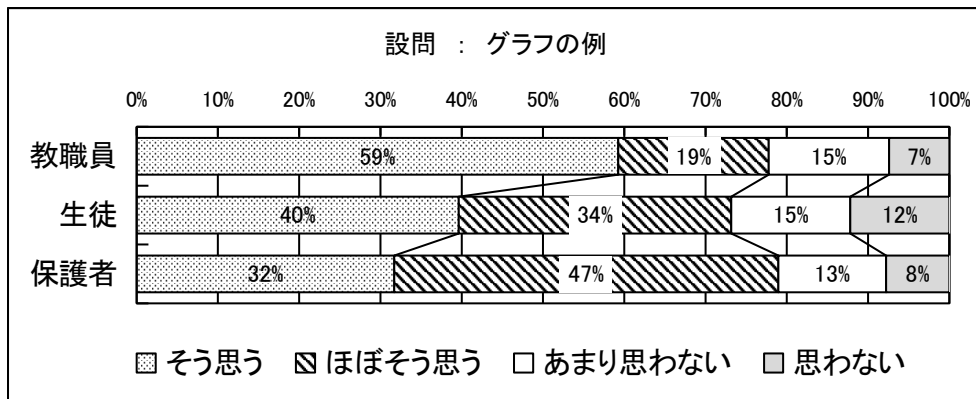
各質問事項に対して、「1そう思う」「2ほぼそう思う」「3あまり思わない」「4思わない」の4段階で回答していただき、「1そう思う」「2ほぼそう思う」を肯定的意見、「3あまり思わない」「4思わない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

保護者のアンケートについては、兄弟姉妹等の複数の生徒が在籍している場合は、全員分回答していただくようにしました。

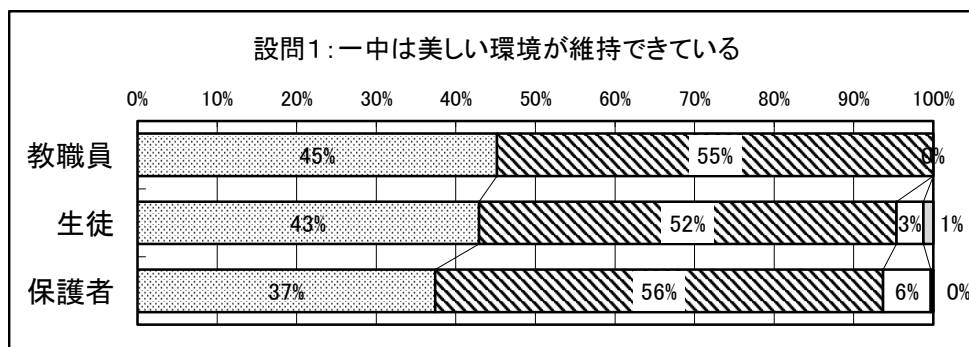
3 結果の活用

調査結果は2月にとりまとめ、全教職員に配布検討し、課題と改善点を明らかにした上で、3年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にしていきます。また、保護者や学校評議員の方にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべき点は積極的に改善するよう努めていきます。

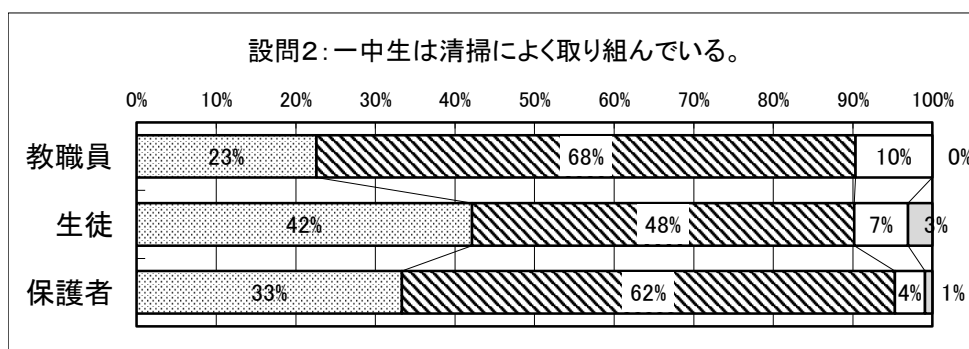
グラフの見方(例) グラフ内の数字は全体に占める割合(パーセント)です。



1 学校の環境に関すること

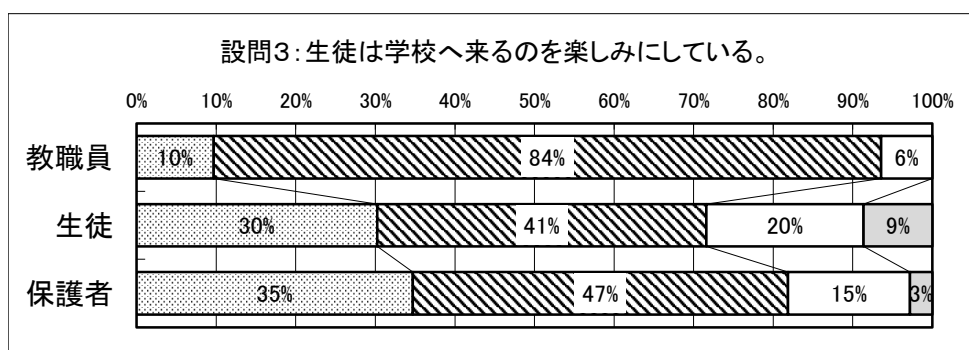


【設問1】では、教職員・生徒・保護者とも90%以上で肯定的な回答が得られ、高い水準での評価となっています。これからも美しい環境を維持できるよう努めて参ります。

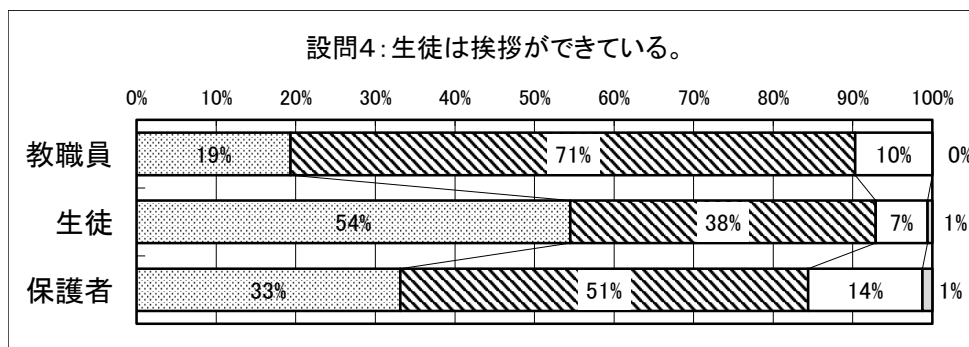


【設問2】では、肯定的な回答の割合が生徒90%、保護者95%と昨年とほぼ同じになっています。本校の生徒信条の一つでもある「場を清め」、今後も主体的な清掃活動になるように取り組んでいきます。

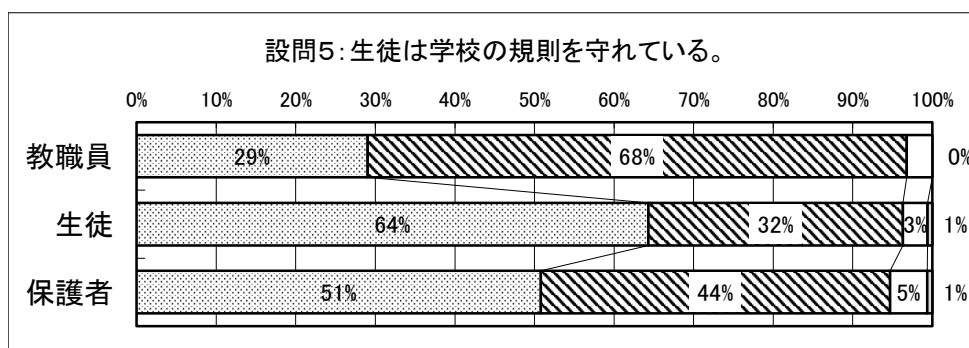
2 生徒の学校生活に関すること



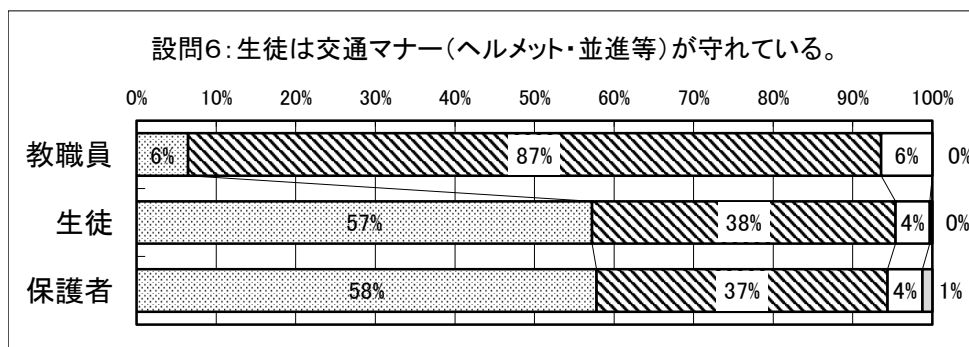
【設問3】では、「学校へ来るのを楽しみにしている」と回答した生徒は71%で、10%の減少、保護者は82%で3%の減少となりました。教職員は94%が肯定的な意見で教職員と生徒との意識のずれが見られます。教職員はこの数字をしっかりと受け止め、すべての生徒が「学校へ来るのが楽しみである」と回答できるように、教育活動をすすめます。



【設問4】では、昨年度と同じように、生徒、保護者、教職員ともに高い数字で肯定的な回答をしています。生徒の92%、教職員の90%が肯定的な回答を寄せており、挨拶への意識は高いといえます。今後も「あいさつ日本一」を目標に、社会生活の基本として、また、一中の伝統として継続させていきます。

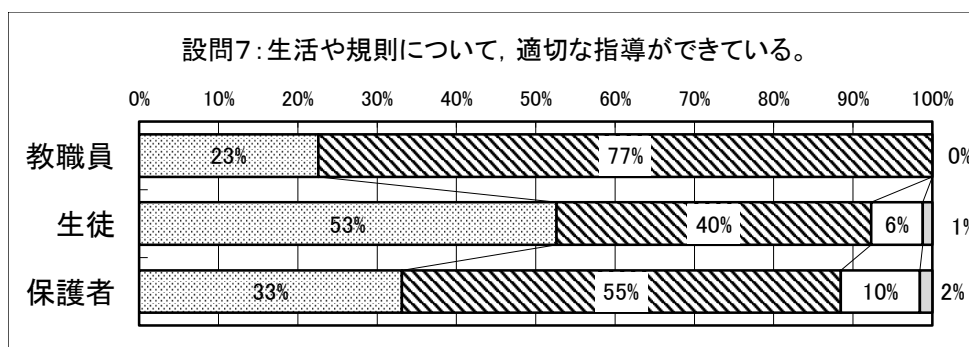


【設問5】では、昨年同様「規則が守られている」と回答した生徒、保護者、教職員とも9割を超えています。教職員は97%、生徒96%、保護者は95%が肯定的な回答をし、昨年同様高い水準を保っています。学校生活全般を見ても、ほとんどの生徒が規則を守り、落ち着いた生活を送っています。学校だけでなく、地域社会の一員としての自覚を持ち、高い規範意識のもと規律正しく生活できるよう、今後も集団行動をはじめ学級活動など、日々の学習活動で指導し定着を図っていきます。

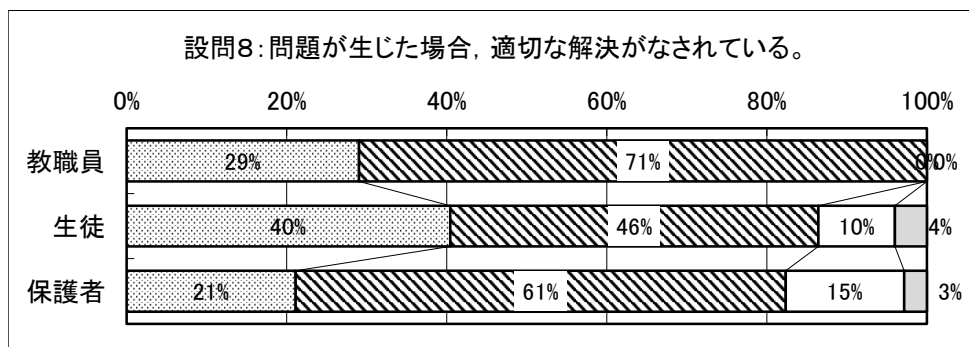


【設問6】今年度も、自転車での登下校中の交通事故が複数発生しました。また、通学路付近での道路工事が多く、危険と隣り合わせで通学する状況が続いています。日々危機感と緊張感をもって、交通マナーやルールを守った登下校をすることがとても大切です。しかし全体で否定的な意見が5%程度あり、心配であると感じています。命に関わる問題だけに、日々呼びかけや啓発をすすめ、安全第一の教育を行っていきます。

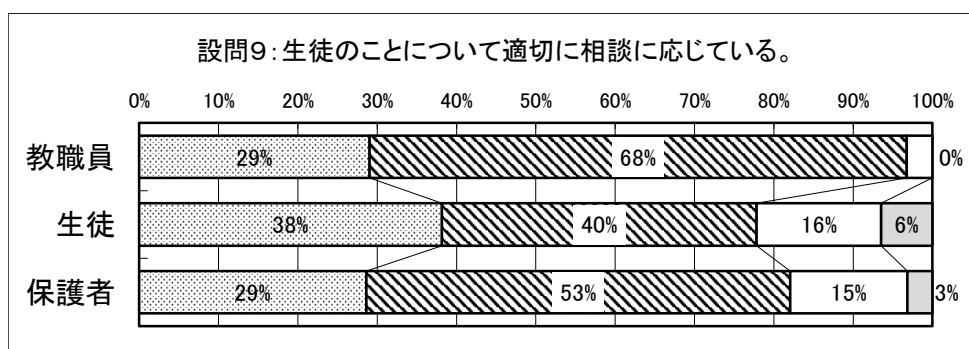
3 生徒指導に関すること



【設問7】「生活や規則について、適切な指導ができている」について、生徒の93%が肯定的に回答しており、昨年よりも向上しています。教職員は昨年に引き続き100%が肯定的に回答しています。今後もより適切な指導が継続してできるように、生徒・保護者・教職員が協力して100%をめざし、活動をすすめていきます。

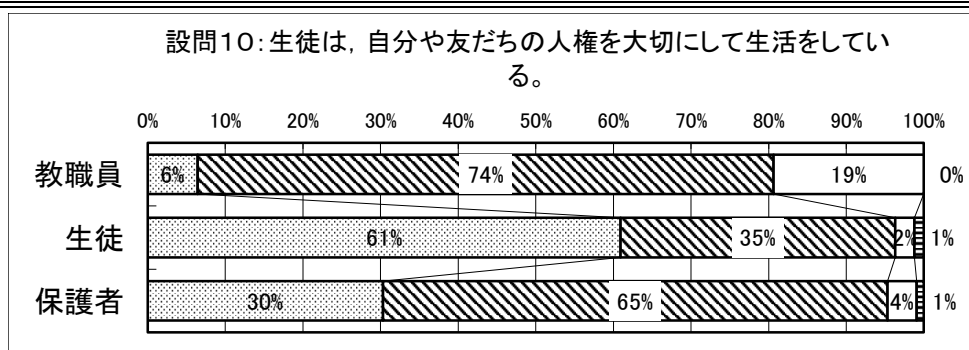


【設問8】生徒の86%，保護者の82%が肯定的にとらえてくれています。今後も家庭との連携を図り、優しさと厳しさを併せもちながら生徒との信頼関係を築き、粘り強く問題の適切な解決を図っていきます。

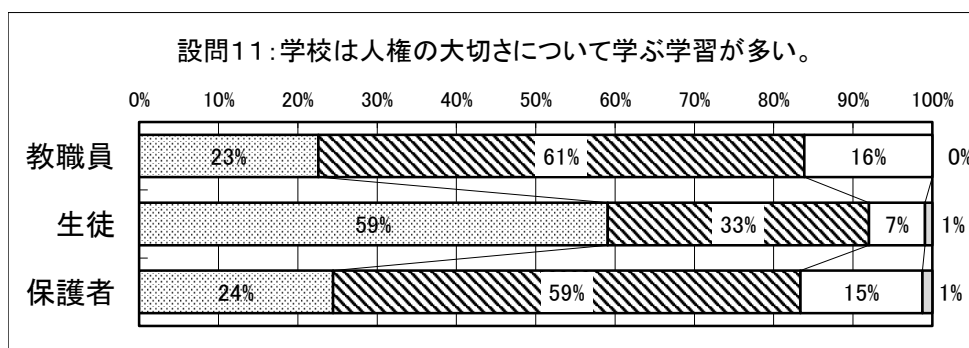


【設問9】の相談活動では、肯定的な意見が生徒では78%，保護者では82%となりました。しかし、教職員の回答に対して意識のずれが見られます。このことをしっかりと受け止め、教職員は今まで以上に生徒と向き合う機会と時間の確保に努め、より丁寧に相談活動ができるようにしていきます。また、継続して複数教員が相談に対応するよう取り組みます。

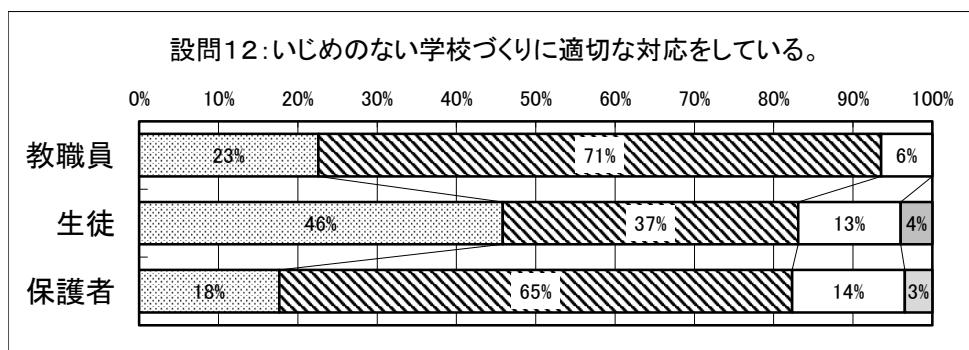
4 人権教育に関すること



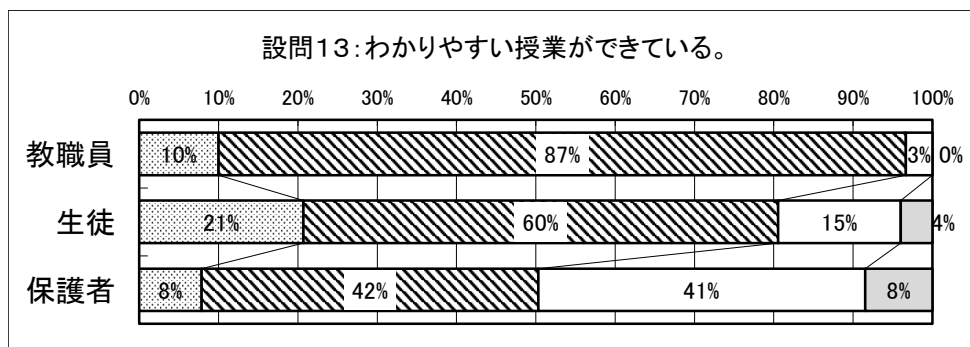
【設問10】肯定的にとらえたのは、教職員81%、生徒98%、保護者95%です。保護者は昨年とほぼ同じ割合で、生徒については2%増加しました。学校が安心できる場所であるために、これからも肯定的な意見が100%になるよう努力します。



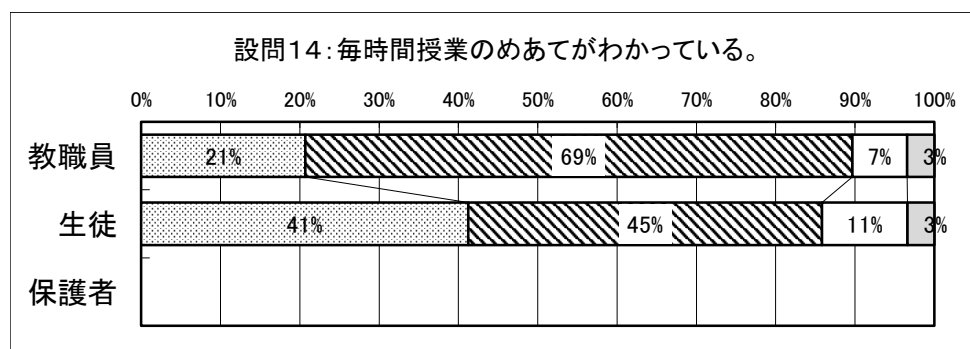
【設問11】肯定的に答えたのは、教職員84%、生徒92%、保護者84%です。これはおおよそ昨年同様の値となっています。今後も本校の目標でもある人権教育の充実をめざし、人権学習をすべての教育活動の基盤に据えた教育を推進していきます。また、「PTCでつくる人権のつどい」や毎月の人権学習通信「和～なごみ～」などを通して、保護者とともに考える機会を増やし、啓発活動に取り組んでいきます。



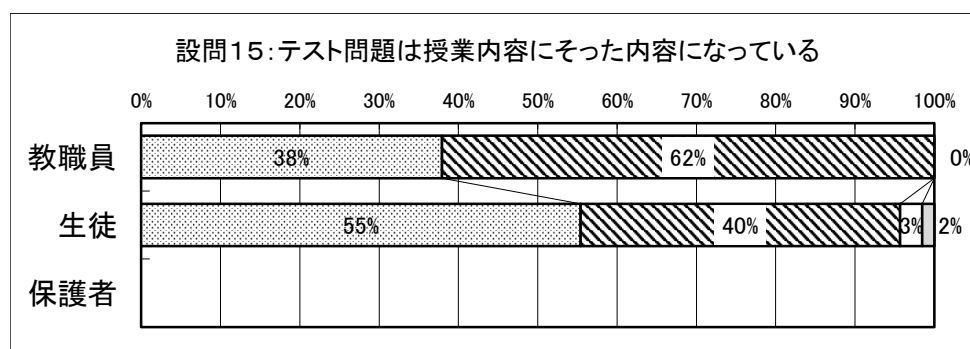
【設問12】いじめはいつでもどの学校でも起こりうるという認識のもと、定期アンケートや相談活動などを通して全教職員で取り組む重要課題です。今回、生徒83%、保護者83%が「適切な対応」として肯定的な回答となっています。生徒、保護者ともに昨年とほぼ同じ数値ですが、一方で生徒の17%、保護者の17%が否定的な回答になっています。このことを重く受け止め、生徒が安心して充実した学校生活を送れるように、保護者・地域・関係機関と連携し、いじめのない環境作りに努めるとともに、早期発見・早期解決するように適切な対応を進めていきます。



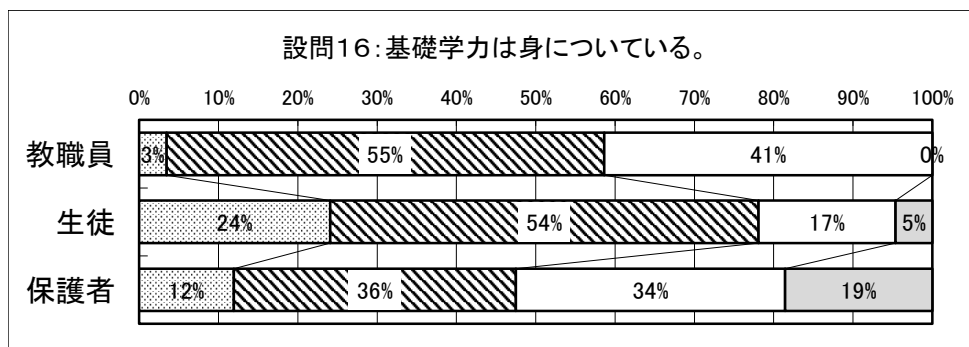
【設問13】本校では学びのユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、教室環境の改善や、ヤマ場のある授業作りなどの授業改善に取り組んでいます。生徒の肯定的な回答は81%となりました。教室環境や授業改善の成果が現れつつあると考えられます。教職員も肯定的な回答が1%増加し、自己の授業を振り返る中で課題を捉え、改善しようとしています。今後も生徒の理解を確認しながら、わかりやすい授業の構築に努力を重ねていきます。



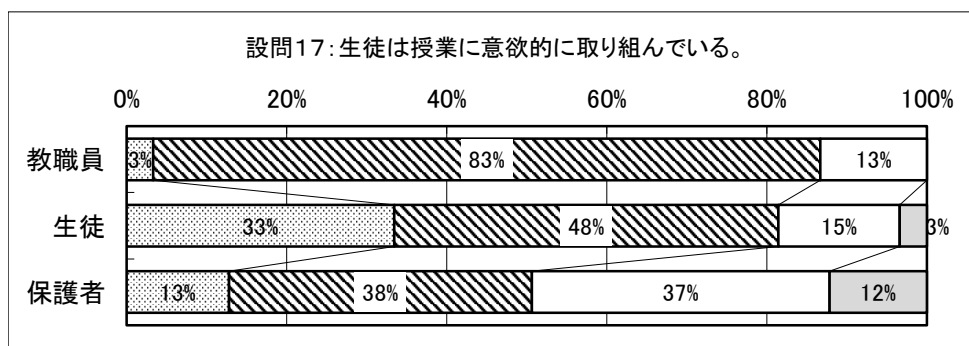
【設問14】全国学力・学習状況調査を受け、平成27年度より設問として取り上げている項目です。肯定的な回答が、教職員では93%、生徒で86%になっています。前述の学びのユニバーサルデザインの一環として、また、めあてを理解することが主体的な学習態度にもつながっていくことから、これからもめあてにそった授業展開、まとめの時間の確保などを継続していきます。



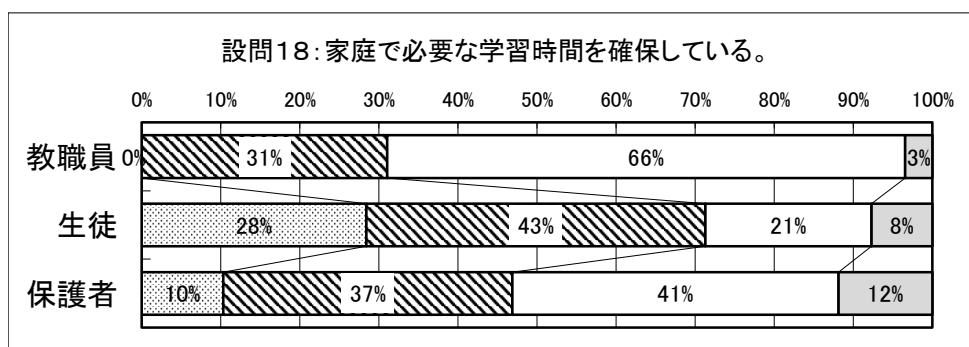
【設問15】テスト問題の内容が授業にそったものでなければ、学力の定着を図ることが難しくなります。その意味では、生徒の95%が肯定的な回答でほぼ満足のいく回答といえます。今後も授業のめあて・目標をはっきりとさせ、授業とテストが結びつくように授業を組み立て、まとめの時間、復習の時間も確保しながら学習を進めていきます。



【設問16】昨年と比べてもあまり変わらない厳しい数字ですが、今年度は肯定的な回答が教職員は5%増加、生徒は3%増加、保護者は9%増加と全体に増加しています。しかし依然としてそれぞれの立場で意識の差が見られます。今年も引き続き基礎学力が定着するよう、家庭学習の充実ということで、学年×10分に挑戦していました。自主学習ノートの取組も全学年で行っています。授業と家庭学習は学力向上・基礎学力の定着の両輪です。今後も継続しきめ細かな支援・指導を行っていきます。

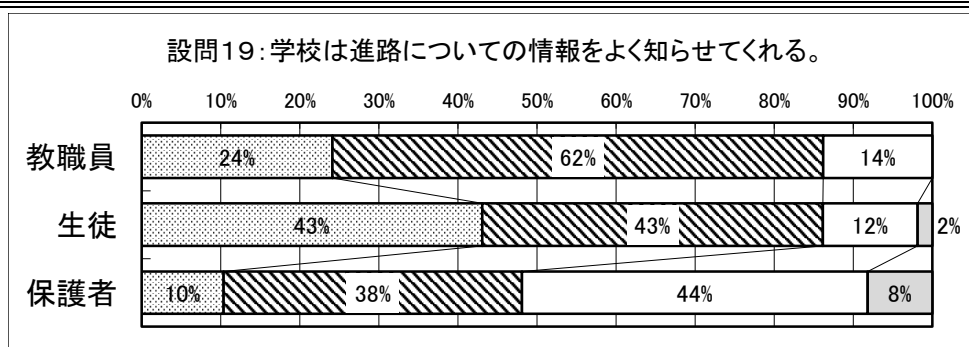


【設問17】「授業に意欲的に取り組んでいる」と回答したのが、生徒・保護者は昨年と同程度ですが教職員は12%増加となっています。生徒が意欲的に取り組めるような授業改善と、今学んでいることが将来へとつながっていく意識を持たせるキャリア教育を実践し、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。また、授業での意欲が、家庭学習にもつながっていくように継続的な指導を行っていきます。

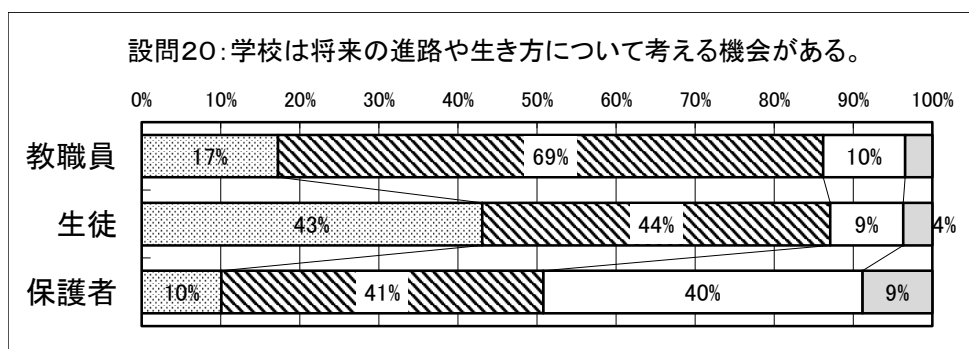


【設問18】昨年と比較すると教職員、生徒、保護者でそれぞれ9%、3%、6%の増加となりました。少しずつ時間確保できてきつつある生徒もいますが、生徒と教職員・保護者との意識に差が見られ、まだまだ家庭学習の時間が確保されていないことがわかります。学力の向上は本校の課題の一つです。授業改善、家庭学習の習慣化、読書活動の勧め等を行い、学力向上をめざしていきます。

6 進路指導に関すること

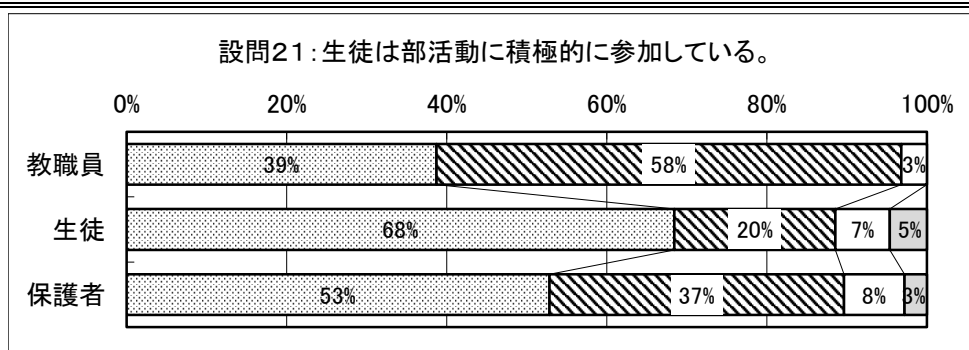


【設問19】肯定的な回答は、教職員は86%、生徒も86%、保護者は48%でした。三者とも昨年と大きな変化はなく、教職員・生徒と保護者との間に大きな差があります。今後、ホームページ、「学校だより」「学年通信」などで情報を提供していくよう、一層の努力をしていきます。

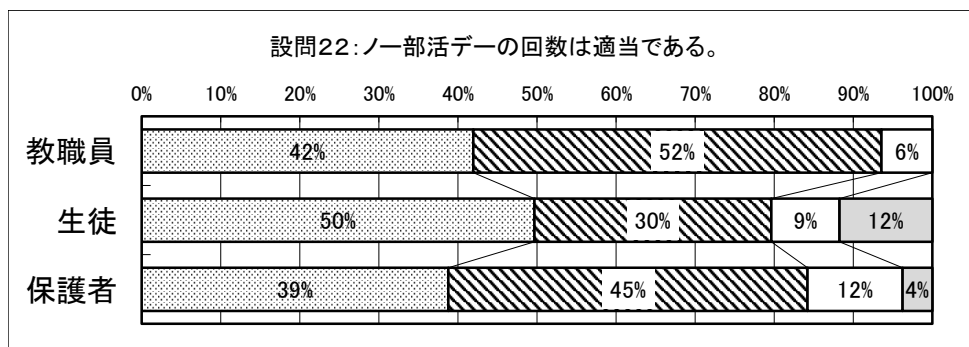


【設問20】肯定的な回答は、教職員は86%、生徒は87%、保護者は51%でした。【設問19】と同じく、保護者は半数近くがさらなる情報提供の充実を求めていることがうかがえます。学級活動、総合的な学習の時間の充実、講演会、外部講師の活用などにより充実した教育活動を継続し、3年間を見通したキャリア教育を推進するとともに、三者面談などを利用し相談活動も充実していきます。

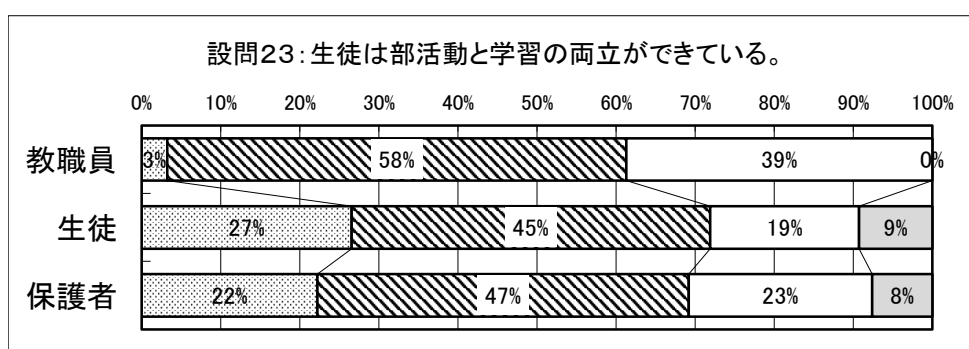
7 部活動に関すること



【設問21】では、教職員97%、生徒88%、保護者90%が積極的に取り組んでいると回答しています。生徒のほとんどが積極的に部活動に取り組んでいることがうかがえます。一方で12%の生徒が否定的な回答になっています。今後も生徒のよりよい成長のため、保護者とともに取り組んでいきます。

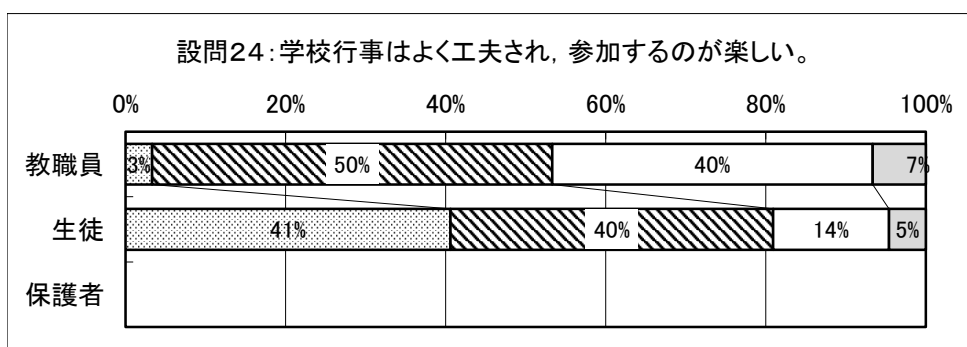


【設問22】では、生徒の79%、保護者の84%が適当な回数であると評価しています。生徒の怪我防止や体力回復のためにも、また、生徒にとって充実した部活動となるよう運営に努力していきます。

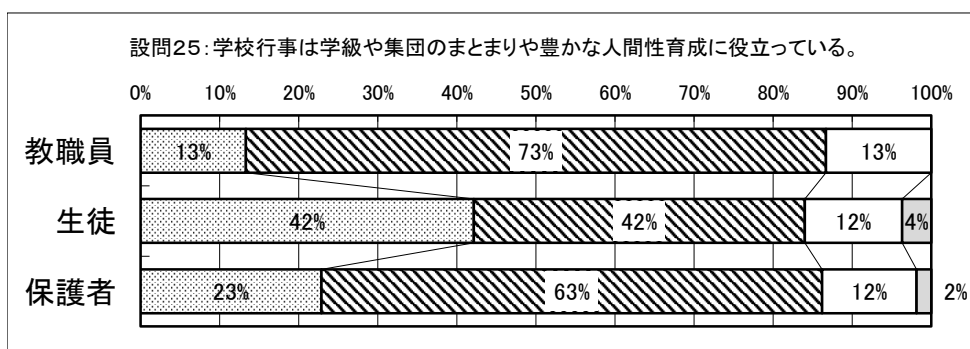


【設問23】では、学習に関する設問と関連しますが、教職員61%、生徒72%、保護者の69%が肯定的な回答でした。昨年と比較すると教職員、生徒、保護者とも10%近く増加し、似通った数値で課題意識が共有できてきたことが読み取れます。学年×10分の目標設定と、毎日続けて学習する習慣ができるよう、また部活動週休2日の完全実施を行うなど、学習と部活動のバランスを考えた教育活動を実践していきます。

8 学校行事に関すること

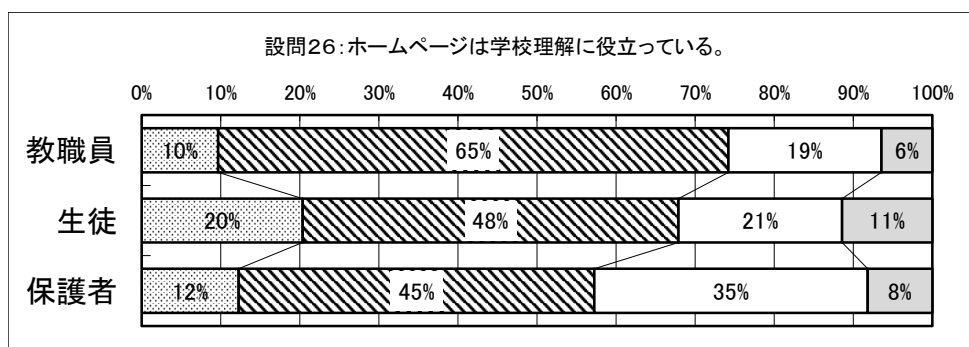


【設問24】では、教職員53%と昨年度に比べ、大幅に減少しましたが、コロナ禍の影響で学校行事の縮小・削減が余儀なくされた結果だと考えます。その中でも生徒81%が肯定的な回答をよせています。今後も地域の中心としての学校をめざし、学校の求心力が高められるよう、職員会、PTA役員会等で意見交換をしながら見直しをするなど、工夫を重ね、よりよき行事を実施していきます。

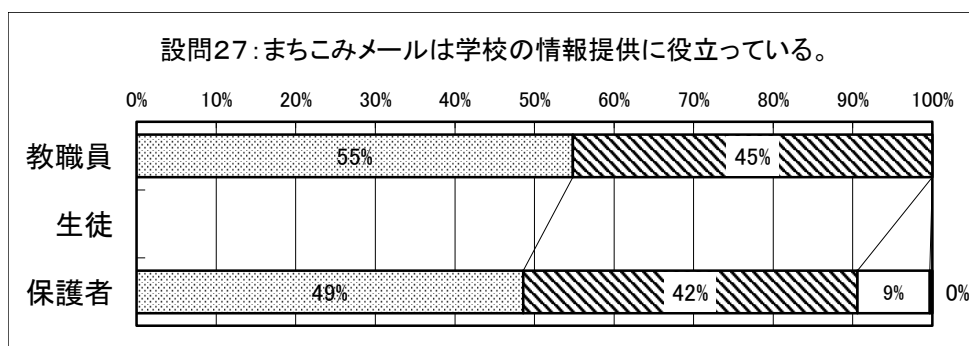


【設問25】では、教職員87%、生徒84%、保護者86%が肯定的に回答しています。学校行事で嫌な思いをする生徒がないように、行事の目的を生徒に考えさせるとともに、運営方法や内容を工夫し、行事を通して協力することの大切さや思いやりの心を育み、忍耐力等を高めていきます。

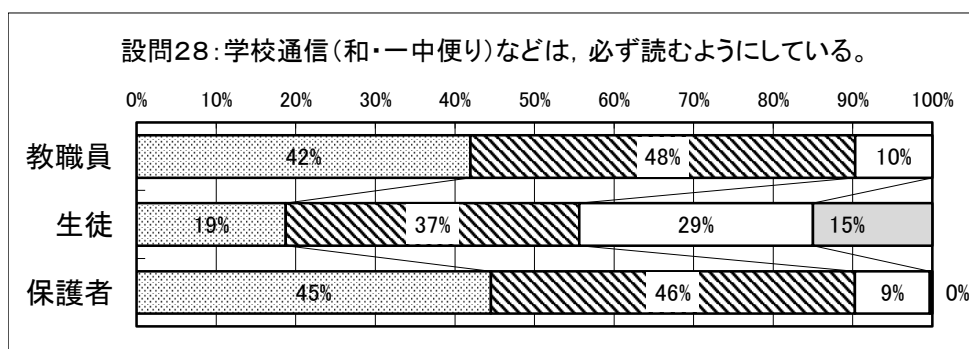
9 開かれた学校づくりに関すること



【設問26】では、教職員75%、生徒68%、保護者57%が役立っていると回答しています。昨年と比べ、教職員は16%増加、生徒は5%減少、保護者が5%減少しています。今後も正確で新しい情報を積極的に提供することを心がけ、学校理解や学校の説明責任に努めていきます。



【設問27】教職員、保護者を対象に聞きました。両者とも肯定的な回答がほとんどで、昨年と変わりありません。これからも、学校行事や生徒の日々の活動状況、お願い等必要な情報を早く提供できるよう取り組んでいきます。



【設問28】では、肯定的な回答が生徒56%と昨年同様、まだまだ低い数値となっています。保護者の回答は91%と昨年よりも3%増加しており、さらに多くの方が目を通してきています。生徒には配布のみに終わらず、短学活で一緒に読むなど意識を高めていきます。また、保護者に確実に届くよう生徒にも指導していきます。さらに、配布物そのものが読みやすく見やすくなるよう工夫をしていきます。

終わりに

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で保護者参加の学校行事をほぼ行うことができなかつたため、設問24「学校行事はよく工夫され、参加するのが楽しい。」について保護者からの回答を求めませんでした。また、設問29「PTA活動(授業参観・奉仕活動・資源回収など)は充実している。」については設問を取りやめています。

全体の傾向として年度当初の臨時休校や夏季休業日中の登校日の増加など例年と違う環境の下での学校教育の影響で様々な設問に対して消極的な反応が増加しているように感じます。しかしその中でも肯定的な意見が増加している設問もありました。

また、教職員と生徒、保護者との間で意識のずれがあると思われる項目もありましたが、多くの項目にわたって肯定的な回答が寄せられました。しかしながら「基礎学力の定着」「家庭学習の時間の確保」「わかりやすい授業」「意欲的な授業の取組」など否定的な意見の多いところもあります。これらについては現在研究中である学びのユニバーサルデザインの考え方をいかした授業づくり・教室環境づくりを中心とした取り組みをさらに深めていき、改善への努力を継続していきます。また、「いじめに関すること」「交通安全に関すること」など安心安全にかかわる問題や「学校が楽しい」などの項目は、肯定的回答の100%をめざし努力していきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

